

# 新型コロナウイルスによる外資系企業への影響 およびニーズ把握に関するアンケート調査

## 結果概要（速報）

---

日本貿易振興機構（ジェトロ）

対日投資部

2020年4月15日

## 1. 調査の目的

2020年に入ってから社会・経済活動に大きな影響をおよぼしている新型コロナウイルスについて、日本でビジネスを行うあるいは計画する外資系企業の経営への影響ならびに必要な支援ニーズを把握し、政府およびジェトロによる企業支援へと反映させるための調査。

## 2. 調査時期

2020年4月2日（木）～ 4月10日（金）

## 3. 調査対象

- 2003年4月～2020年の調査開始時点までに、ジェトロの支援により日本に拠点を設立・拡大した在日外資系企業および諸外国の在日商工会議所の会員企業
- 有効回答社数：376社

## 4. 調査方法

オンライン調査

## ・ 93.4%の企業が、新型コロナによってビジネスに悪い影響があると回答

新型コロナウイルス感染症の感染拡大（以下、新型コロナ）によって、62.5%が「悪い影響がある」、30.9%が「多少悪い影響がある」と答え、計93.4%の企業が、悪い影響があると回答した。日本企業を対象とした国内のアンケート（※）でも9割以上が何らかの影響があると回答しており、本調査でも同様の結果となった。影響の内容としては、「売上・受注の減少」が68.4%で、上位項目はいずれも需要の低下を反映した項目が並んだ。

## ・ 日本でのビジネス拡大意欲が鈍化

新型コロナを受けた今後の事業展開については、「現状のビジネスを維持」（37.5%）、「計画どおりにビジネス拡大」ならびに「ビジネス拡大を遅らせる」（ともに22.6%）の順に回答が多かった。2019年度のアンケート調査と比較すると、ビジネス拡大意欲が鈍化している。新型コロナの収束時期によっては、日本でのビジネス拡大意欲の低迷が長期化する可能性がある。

## ・ 現時点でのビジネス運営の課題は、顧客・消費者の確保・獲得が最多

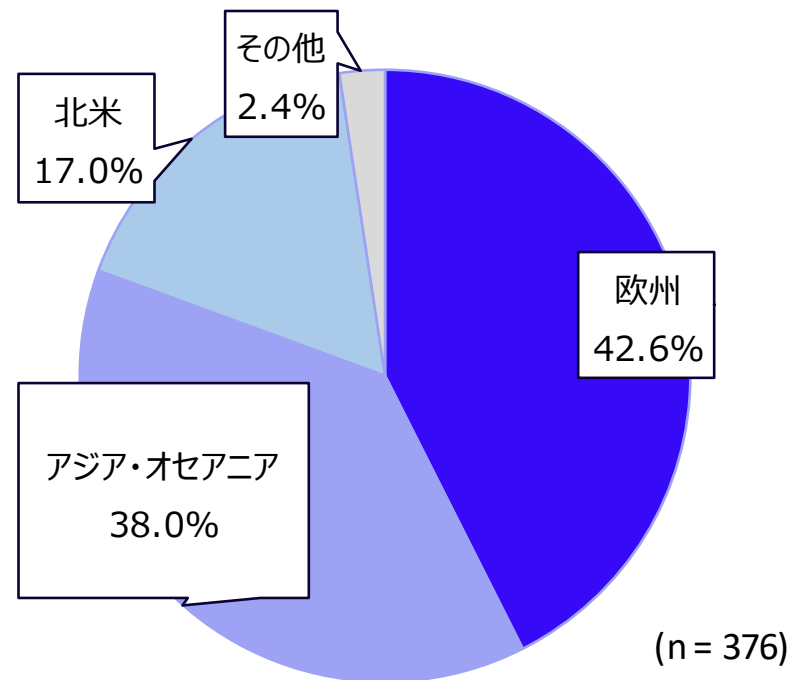
現状を踏まえたビジネス運営の課題では、顧客・消費者の確保・獲得が51.3%で最多だった。特に、非製造業の回答率は55.6%で、製造業（46.2%）を10%近く上回った。「キャッシュフローの確保」（29.5%）は2番目に多く、何らかの金銭的な支援策を必要としている企業が多いことがわかった。

※第3回新型コロナウイルスに関するアンケート調査（東京商工リサーチ）では97.5%の企業が「すでに影響が出ている」あるいは「今後影響が出る可能性がある」と回答している。

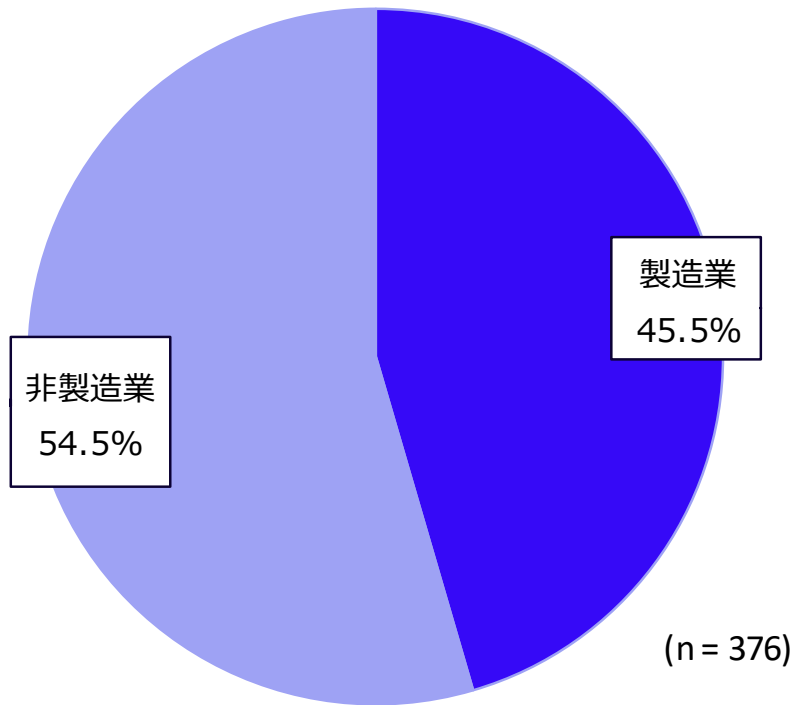
回答企業の国籍（国・地域別）

国・地域	企業数	割合 (%)
中国	71	18.9
米国	60	16.0
ドイツ	39	10.4
フランス	31	8.2
英国	22	5.9
スイス	22	5.9
韓国	17	4.5
インド	11	2.9
オランダ	11	2.9
台湾	11	2.9
シンガポール	10	2.7
イタリア	8	2.1
ベトナム	7	1.9
スペイン	5	1.3
デンマーク	5	1.3
フィンランド	5	1.3
香港	5	1.3
その他	36	9.6
計	376	100.0

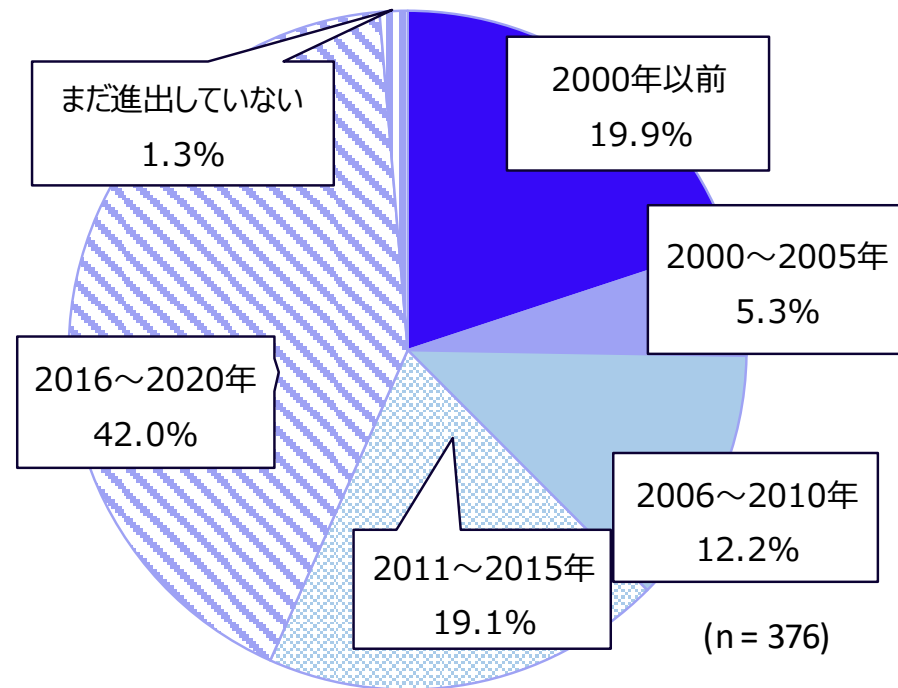
回答企業の国籍  
（地域別）



## 業種



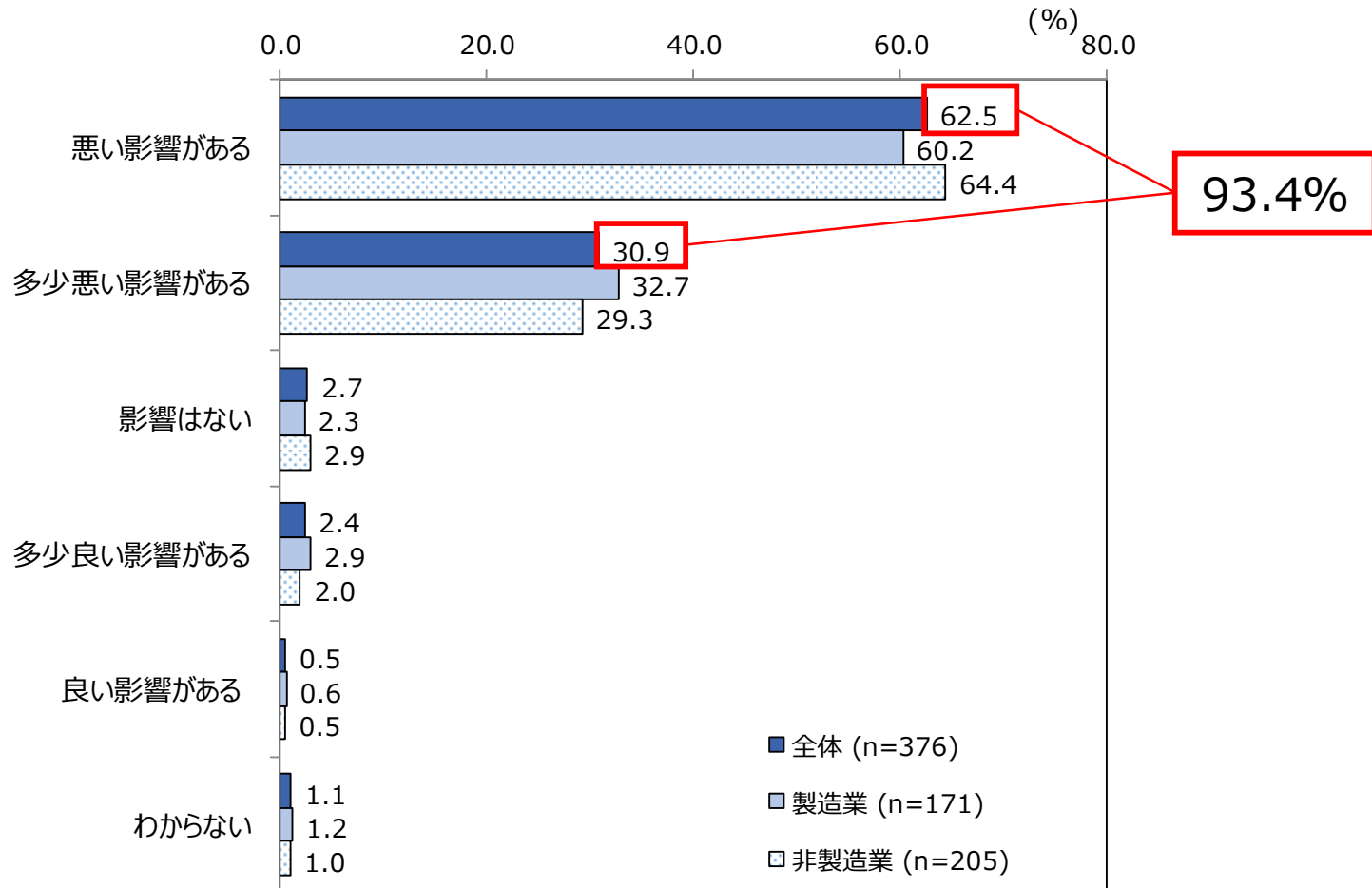
## 日本進出年



# (1) -① 新型コロナによるビジネスへの影響

- 回答企業の93.4%が「悪い影響がある」あるいは「多少悪い影響がある」と回答した。
- 農林水産業を除く全ての業種で「悪い影響がある」が最多の回答で、特に運輸・観光は88.5%と高かった。

新型コロナウイルスによるビジネスへの影響（全体・業種別）



# (1) -② 新型コロナによるビジネスへの影響

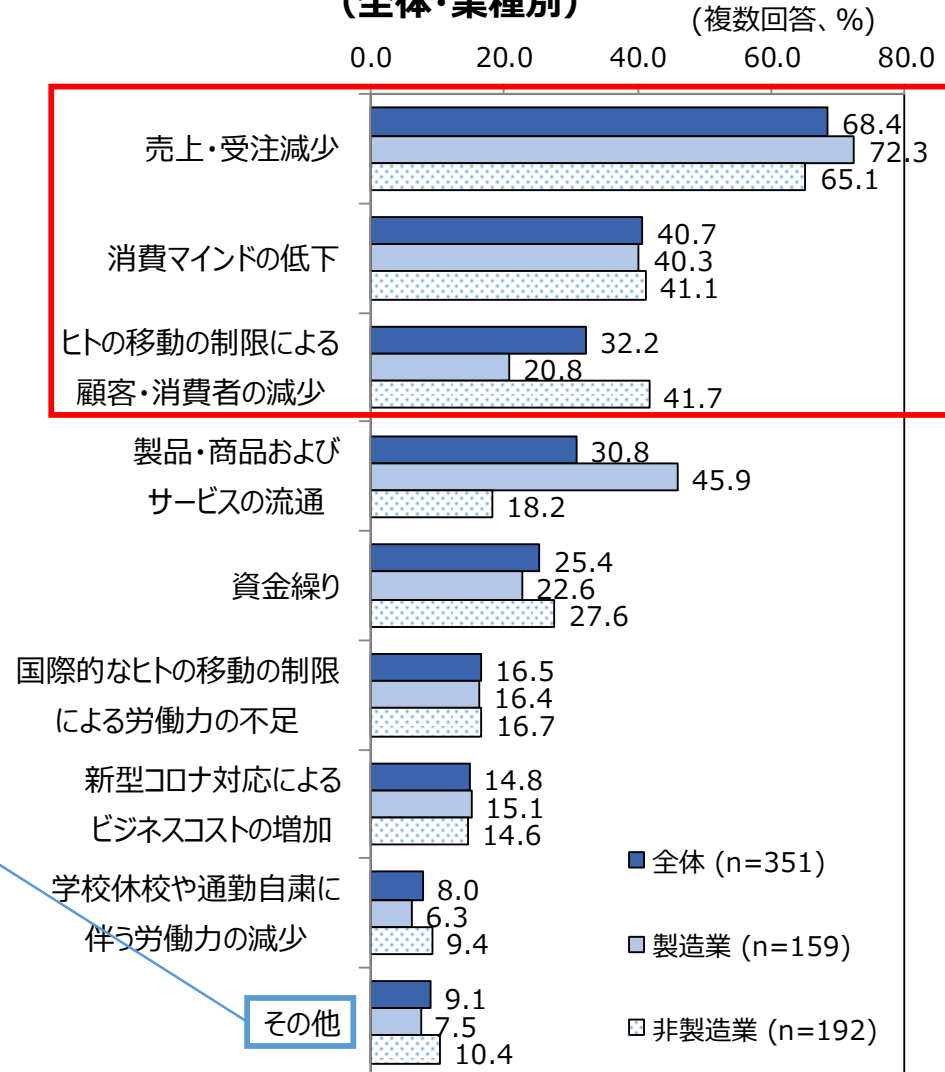
- 悪い影響があると回答した企業（注）の具体的な影響の内容をみると、「売上・受注減少」が68.4%で、上位3項目はいずれも需要の減少を反映したものだ。
- 業種別に見ると、「ヒトの移動の制限による顧客・消費者の減少」は非製造業の回答が41.7%で、製造業（20.8%）を大きく上回る。他方、「製品・商品およびサービスの流通」は、製造業の回答が45.9%で、非製造業（18.2%）の回答率を大きく上回った。

### <その他>

- 物理的に直接顔を合わせた商談が行えない、あるいはオンラインなどで行っても進捗が遅い。
- 営業時間や活動が制限される。
- ビジネス展開や拡大に関する決定の遅れ。など

注：nは、新型コロナにより「悪い影響がある」あるいは「多少悪い影響がある」と回答した企業。回答は上位三項目まで回答可とした。

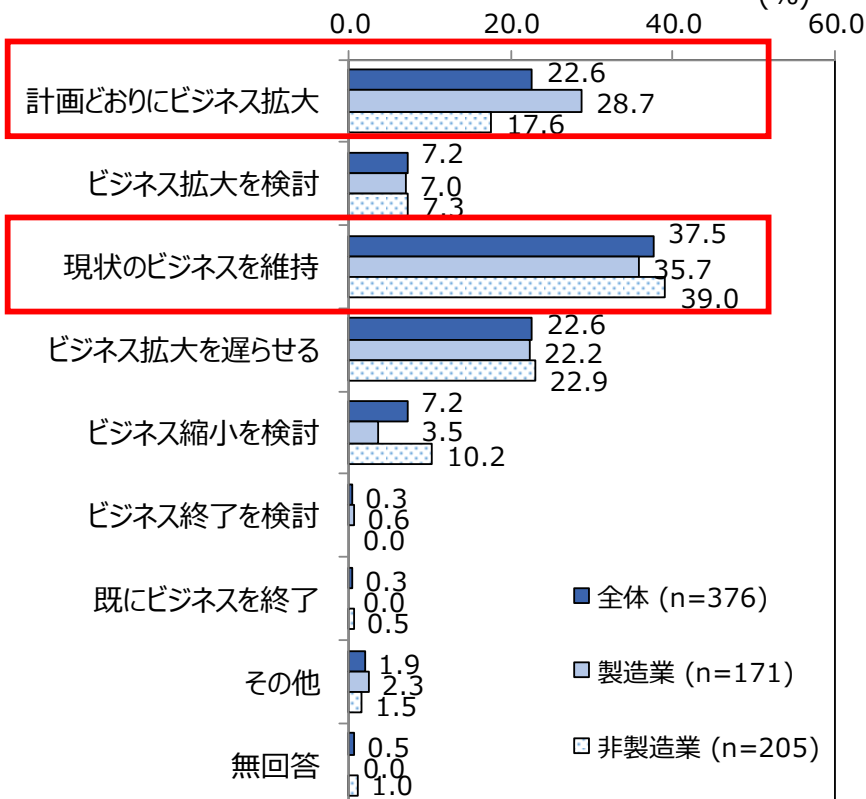
## 影響の具体的な内容 (全体・業種別)



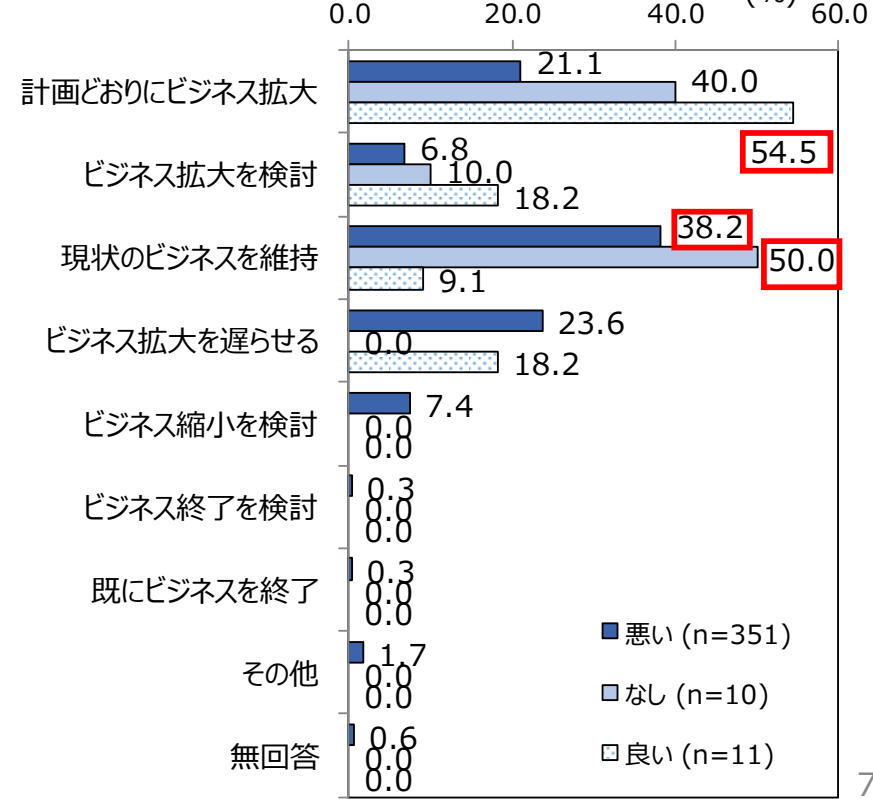
## (2) 今後のビジネス展開・拡大の計画

- 全体では「現状のビジネスを維持」(37.5%)、「計画どおりにビジネス拡大」ならびに「ビジネス拡大を遅らせる」(ともに22.6%)の順で回答が多かった。2019年度のアンケート調査と比較すると、「拡大する」(2019年度調査：70.3%)の回答率が低下し、「現状を維持する」(同：28.3%)が増加した。
- 新型コロナの影響別にみると、「良い」では「計画通りにビジネスを拡大」が最多(54.5%)となった一方、「悪い」ならびに「なし」では、「現状のビジネスを維持」が最多(悪い：38.2%、なし：50.0%)となった。

今後のビジネス展開・拡大の計画  
(全体・業種別)



今後のビジネス展開・拡大の計画  
(影響別)





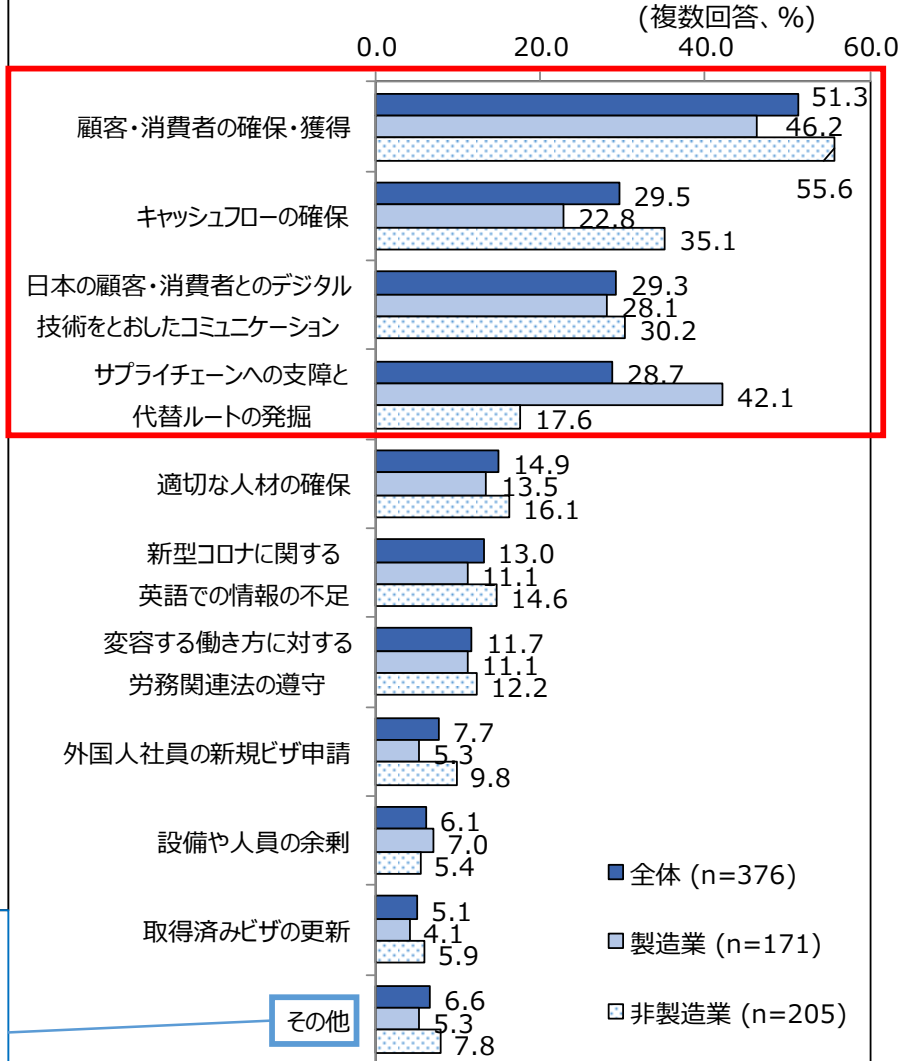
# (3) - ① 現状を踏まえたビジネス運営の課題

- 新型コロナの影響を受ける現況のビジネス運営の課題としては、売上に直接的に関連する「顧客・消費者の確保・獲得」が51.3%で最多だった。特に非製造業の回答率は55.6%で、製造業の回答率（46.2%）を10%近く上回った。
- 全体で二番目に回答率が高かった「キャッシュフローの確保」（全体の回答率29.5%）は、特に非製造業（35.1%）の回答率が高い。
- 「日本の顧客・消費者とのデジタル技術をとおしたコミュニケーション」は全体で29.3%と三番目に回答率が高く、製造業（28.1%）、非製造業（30.2%）を問わず約3割の企業が回答した。
- 「サプライチェーンへの支障と代替ルートの発掘」は、全体の回答率は28.7%だが、製造業では42.1%と、同業種では2番目に多い回答となった。

## <その他>

- 社員の健康保持、消毒薬やマスクなどの不足
- 当局対応・申請許可の遅れ
- 予定していた受注のキャンセル
- ビジネス活動のための国際的な移動や帰国制限、など

### 現状を踏まえたビジネス運営の課題（全体・業種別）



注：該当する上位三項目まで回答可とした。

# (3) - ② 現状を踏まえたビジネス運営の課題

- 拠点の設立年別にビジネス運営の課題をみると、「顧客・消費者の確保・獲得」が最多となる傾向がある中、2000年以前に拠点設立を行った企業のみ、「サプライチェーンへの支障と代替ルートの発掘」が50.7%で最多だった。次に古い2000～2005年に拠点設立した企業も、同回答の回答率は40.0%と比較的高い。

## 現状を踏まえたビジネス運営の課題（拠点設立年別）

(複数回答、%)

	全体 (n=376)	～2000年 (n=75)	2000～05年 (n=20)	2006～10年 (n=46)	2011～15年 (n=72)	2016～20年 (n=158)
顧客・消費者の確保・獲得	51.3	45.3	55.0	43.5	52.8	55.1
キャッシュフローの確保	29.5	25.3	25.0	34.8	36.1	28.5
日本の顧客・消費者とのデジタル技術をとしたコミュニケーション	29.3	25.3	20.0	26.1	29.2	32.9
サプライチェーンへの支障と代替ルートの発掘	28.7	50.7	40.0	26.1	19.4	20.9
適切な人材の確保	14.9	10.7	15.0	15.2	13.9	17.7
新型コロナに関する英語での情報の不足	13.0	13.3	20.0	15.2	15.3	10.8
変容する働き方に対する労務関連法の遵守	11.7	16.0	0.0	13.0	20.8	7.0
外国人社員の新規ビザ申請	7.7	4.0	5.0	8.7	6.9	9.5
設備や人員の余剰	5.1	5.3	5.0	4.3	4.2	5.7
取得済みビザの更新	6.1	10.7	0.0	6.5	8.3	3.8
その他	6.6	6.7	10.0	2.2	6.9	7.0

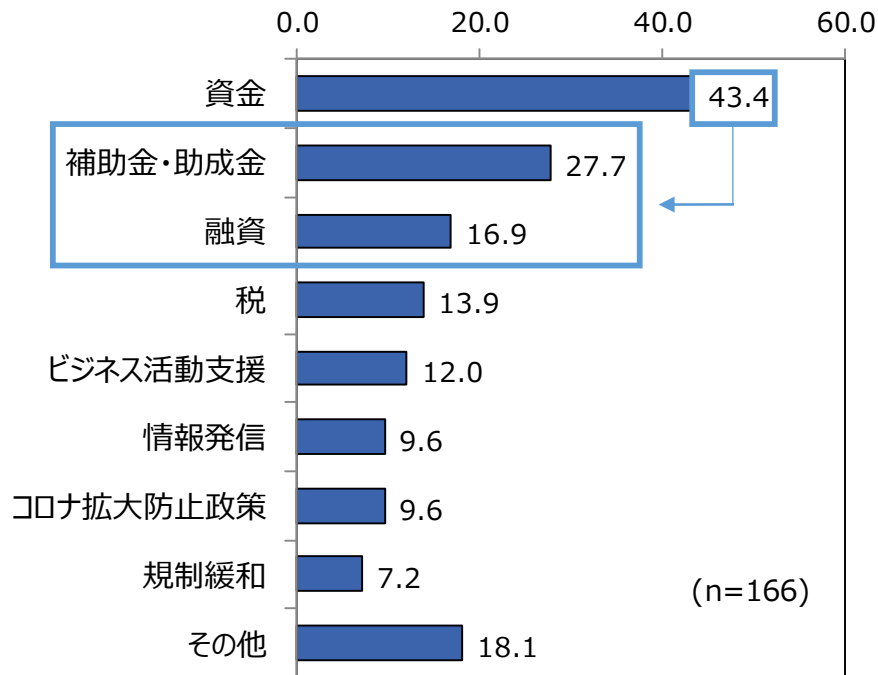
注：1) 該当する上位三項目まで回答可とした。  
2) ハイライトは、各年代で最も回答率が高かった項目。

# (4) 必要とする政府の支援・情報

- 日本でのビジネス展開あるいは拡大に必要となる政府の支援策では、「資金」関連の回答が43.4%と最も多かった。次に多かった「税」（13.9%）関連と合わせると、半数以上の企業が何らかの金銭的な支援策を必要としている。
- 必要とする政府支援の「その他」では、雇用の維持や新規雇用の獲得支援、国際的なヒトの移動の制限にかかる入国手続きの簡素化・見通しの明確化、テレワーク実施にかかる支援、などの回答がみられた。

必要とする政府支援（全体）

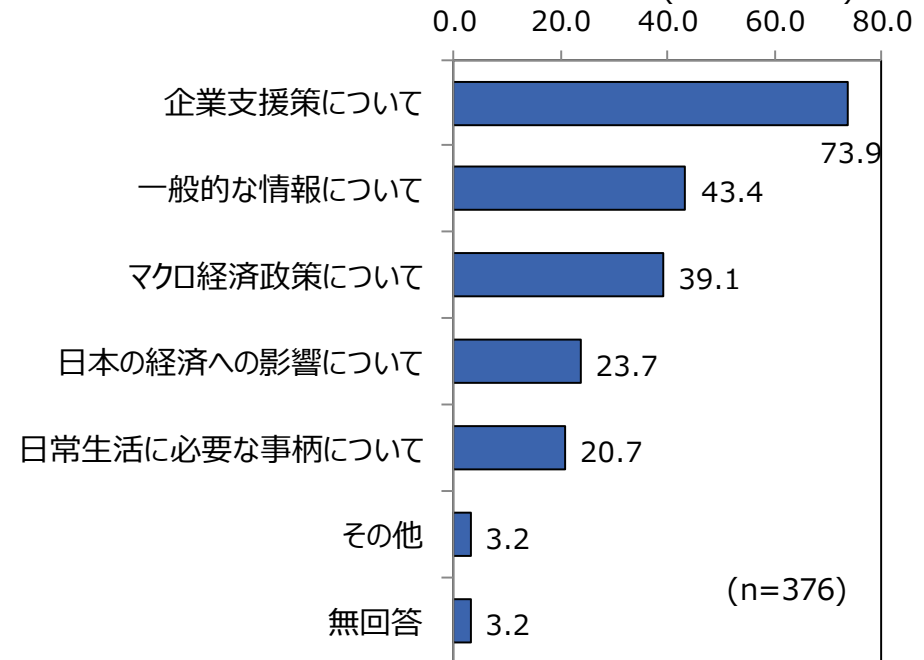
(複数回答、%)



注：nは、必要な支援策に関する自由回答のうち、「特になし」などの回答を除いた数。

新型コロナに関連した英語での情報提供ニーズ（全体）

(複数回答、%)



注：該当する上位三項目まで回答可とした。

- (1) 新型コロナによるビジネスへの影響**
- (2) 影響の具体的な内容**
- (3) 日本での事業・投資計画への影響**
- (4) ビジネス運営にかかる課題**
- (5) 英語で必要とする情報**
- (6) 必要とする政府による企業支援策**



www.investjapan.org

## ジェトロ対日投資報告 ウェブ掲載頁

和文：<https://www.jetro.go.jp/invest/ijre.html>

英文：<https://www.jetro.go.jp/en/invest/reports.html>

日本貿易振興機構（ジェトロ）  
対日投資部

東京都港区赤坂1-12-32

Tel. 03 3582 5571, Fax. 03 3584 6024

★本資料で提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本書で提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益を被る事態が生じたとしても、ジェトロは一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。